塚本長官の

船中漫談

の洋行されたのは一

四十五位援いたがそれも一向上連せず、暮ら一寸智つただけだ。 大學時代に諡の稽古をしたが、 大學時代に諡の稽古をしたが、 大學時代に諡の稽古をしたが、

婦人公民權案

米穀法改政案

吸法案に

盟實施の見込

◇安達内相の意見

総か別子と同一にする誠になほぎ を及ぼす處わり婦人の存機管格早 高級低の事態を送め最高基準以上、 内様より法文に繋げる説明ありむ につき「編に米歌調管會の答明に を及ぼす處わり婦人の存機管格早 高級低の事態を送め最高基準以上、 につき「編に米歌調管會の答明に を表にては親國の系統線座に終数 基さ米数の関入れ又は暫出他の最 につき「編に米歌調管會の答明に を表に可田原根より米数法院正案

目分に關する話は嫌ひ

趣味は讀書位る

船に弱いから時化ねばよいが

をに終り をに終り を関係で含見の一数を見ず未決 をに終り

救護法案未定

安憲正木殿根がこれに飲る事に決整田の歌正にて枯の新製作成には

日

の共同利益の保護の共同利益の保護

救護法の實施促進

請願令による上奏手段を斷行

全國方面委員蹶起

意見により原製を飲正決定せるもの説明をなら後電十五曜中職傾職の影響技選製送既正要線につき家修安薬内様より内極貧、保健の影響



本的に相称をする総質配料を

いたの他のロシャ にある。職してこ にある。職してこ

米てもないので

支那の質問に続

あるが、それを独して微峰は歌 つたもので、これは野支景職と つたもので、これは野支景職と

中の

立するこさになった。

〜後貴族院對策と答辯方針

きのふ閣議で打合せ そあれ、大陸において、一定の 地の人に関られ、その所能も南 かながんするさいふ差こ その所能も南

選出様常様さなり、被撃の配置を乗についても、無難を 支那間題についても、無難を がしまける嫌いさ乗に アルジョアジイの支那論さ、ア

まつて破死し、それか基礎にし

茂三郎氏の中央公論昨年十一月のアロ派支統問題論表にる鈴木のアロ派支統問題論表にる鈴木

既の「驚心動魄の限り」を強ん

る。かうしたプロ歌の変形粒が 繁玉鷺の素質家野藤養一氏が私財 のさばり出て世の中であるから 四十萬個を接じて新義州に勝匿せ 更那の採日政策は前途萬々壁で んさする接続學校は今回窓叩され を かっしたプロ歌の変形粒が 繁玉鷺の素質家野藤養一氏が私財

職悪館上田賀氏は贈る

思つてるます、解氷中で直に工 有林三萬坪の拂下を受けたいさ 場所は義州郡江上面白玉洞の國

市吏員退職死亡

トテモ愉快!

一家公大陽氣

ポリフアー式電氣吹込

給與金制度改正

大連市で六年度から

服かで開釈な新民族、進行小唄、 制度無邪想な重義、唱歌あり 利度無邪想な重義、唱歌あり

どれもく素晴しい名曲揃ひ

聴く人手を叩

いて

は十二日まで市役所機務課めて申込んで買びたいさ

月二十四日附本紙好職羊所数

職者が生れる

郷職によって

りの論述にならないからであるるソウエート、ロシャの希望通

見倒を切つてゐるから愉快であ

でわつて、歌じて我々のゆる

のための浦蒙猷策

ないからである。彼等の本山た

の得意とするマルクスお後の

の決勝録である」を献し取「そ

うしなければ、支靴の事を被

中義一上日皇之奏章」を以て伊郷さして論する氏は、例の「田

き好賣料さしたものか、これ

鮮人子弟養成の

拓殖學校を設置

齊藤氏が私財四十萬圃で

今年四月新義州に

交那人の武殿交撃をそのまり板

(Rの三素をそれと、取り念さい合 本日の歌歌に提出と得なかつた。 本日の歌歌に提出と得なかつた。

に塩出し意味は表については直に に塩出し意味は表については直に を持って物質の手質が続いますなっ で終りに答願館より変接成を中心 で終りに答願館より変接成を中心 職等に上つた重要諸問題につる

間があると

五五何·我们里写是了。 是打我们自己啊! 是打我们自己啊! 是我们工发自己的軍隊,想英國民党打叙軍-就是打我们自己啊! 二、政府は整理業者に四千島國。 農業副業に七千島園融通するさ 農業副業に七千島園融通するさ 勝田主計氏(所)登歌 大 標果製料線支護によって約二百 高石買上かなしたが将來の計畫 「高石買上かなしたが将來の計畫」

红軍為歲... 在主列街上示威友對遊及好軍, 在工列街上示威友對遊及好軍, 在工列街上示威友對遊及好軍,

茶公 大月 日

力をなすこさ 関き全院を御の耐化

ふ質問戰の 頂點

【東京二日發電面】一日の開議で一旁動組合法案の提出が決定し結

だなさ非常に感心されたさうで か田さんは筆長なんで偉いもの か田さんは筆長なんで偉いもの か田さんは筆長なんで偉いもの

山西軍泣寢入り

軍に變通辦法を設定して

不平將領を登用する

消費經濟問題論

派は排除は用 日 語の遺

十分連れ一日午後一時代、門司を増る中をほんこん鬼は謙忽より三つの

つて二月、八月は海の売れる月ですが」さ答べる吉田事務長の記集すが」さ答べる吉田事務長の記集であって聚れいば」さか呼略は長官は野歌であった。以いた長官は野歌である、悪威さの定談かった。以いた長官とかが終さした長官というに長官とかが終さした長官というにより、以いたというによりにある。悪威さの定談かった。以いたというによりによりにはなった。以いたというによりにはなった。以いたというにはなった。

政友の太田正孝氏商相に肉薄

を誅求

0

|二日(金の風)||無雪模様 |各地温度 |大連零下 五二 零下 四大 |東順同 二〇三 同 二三五 |東京回 二〇三 同 二三五 |東京回 二〇三 同 二三五

◆…新聞關係者も出版するが時々 概を急いで引つこねいて了つた を急いで引つこねいて了つた

種報

豊家るやうな人ばかりの乗りだ えた自分の眼で左右することのの名上計りで、各代表してゐる

年至十四年西充白氏蔵石

・ 内積力な安那人の勝ら戯によるさ ・ 一覧演さいふ残であつたが二日 ・ 一覧演さいふ残であつたが二日 ・ 一覧演さいふ残であつたが二日 劉珍年氏軍費

共匪優勢のため 返り討の政府

懲罰事犯圓滿

においてはこれた計す意識のやう をのが針である、しかし改成會が がの形式で衰散を契め来る

共匪本部に日、電 東不変がちだが共産の大変略といるというない。 人の顧問 略に修べられて 高山泉なる四十 モスクワから特 職人三名の 『東京二日餐電通』 製版院本會職 は二日午前十時二十分際會前日の に 東京二日餐電通』 製版院本會職

さする政友會館の再審査の肺器に

であるから政友會の出家により二といなる機械である

三日間に亘つた

勝田氏質問了る

貴族院本會議(二日)

9) 二日着任唉岁

時大連滞外着の鎌定

三日午前九

青年五友师 為及對帝國去表國民党進攻

め事情啊…… 意思多感素更大ない。 意思多感素更多的方法系然红军明女了、青玉河、意思多感素更要的方法系统红军明教,是的军家、用最

中国第 歲一

り度吹を持つであら

なら公正會の激田長勝晃の処き被の影響に一大動搖を軽へるものさ

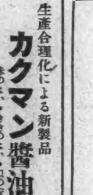
て緊急的質疑を本會職においてな一角を管肌して輸送した概念の貴院無附上程さるとを待つ一角を管肌して輸送した 0

漢 碑 斷 拓

事業、依然さらて影悦の既はらか のは悪恨、要能。

爾侯鄭伯許男曹伯 爾侯會于香沃德尔 中有二月戊午

が修分在市一流



カクマン特別教育元 カクマン特別教育元です、基 将三圓三十銭

お安くお泊りが出来る親 物よく 親 郷 く 南滿ホテ を いっぱい 大連市東郷町五四

一家国 紫 高砂ハラ茶の時代ハラダーのかきしょうが、 ちゃんさいちゃん かいり 茶の むしょ ブズ Ф

本大連取引所一乗主事 上海 「島」における取引狀況並に事務親祭のため七日から向ふ十六日間の 東定で同地方に出張する由 本田黒英記 (経験士) 二日出 横うらえたで内地へ

驚いた大賣行!

此外名士名流悉く讃嘆推奨・ ードは、此意味から人類の生活行派曲だ! をかに正しく明るく生きてこそ 新され本書の幸調を明はふこと が出来る。咳咳吐のキングレコ 大賞讃!

今スの最前の著音機店で御試聴下さい。

◆東京 大日本雄辯會講談社編修發行

BB.

作の人、一ッ治線の大に墨がらん 記本関東長官、明三日のほんこ

さに努力わりたし。

| 野歌出来の塩出に夢心。戦争送は

大觀小觀

を發表

近く完成されるのを待つて

映畵化

って可能の乙女干賞、妖能な女」らして酸々住場に入り酸者の興味

あめさすひえかながはなら がし

进

利

食料

品

部川

CAT .

料語話電=

芳香美味の

利

茶

舖川

本社が封切り試寫

成績により哈府。浦鹽迄延長

義士會の催し

なほ九百三十七名

缺席兒童

流感の恢復率は大連舊市外の

飛降り惨死

の清吉に

公設市場物價

で列車から 周水子驛附近 薩摩守が

小學校の方が惡

兄童間に福納者郷出し

れた単微別にし臨時保校前に於け る二十六日の楊頼保校見参載さ 一一日 に 於ける福頼保校 ・ と変数を比較するま左の通りで、 をいる。 である。 が歌い棒様である。

日

さ称衣着に呼びかけた 部屋へ膨上つて行つた ずあるよ、持つて来る」

そこへお巡りさんが三人還入つて

いたくな蛇を輸光院に泊める蛇野一のこさで全く手をかけやがる」さ「大たい、静つばらへるやうなぜ」はないざやないか、あいつは釈座

者が認か強出さうさしても「今更」
「さいふやうな酸つきで脈も口を出
である終行者のやうに細胞にじつさ
ストーザの組を眺めてゐるさ二階
アカら降りて來た一人
アカら降りて來た一人 無聊ご營養不良に疲れ切つた に入れた一べん飲き酸したらしい

ふ喰をしめ

「すまんな食つちまつて、神秘社シャー〜歩け茶碗に五杯でげた」 と答を先生題にさらだちんさこに 可日は何處かさしだち

持つて來たのはアルミニューよ線 ないか」ご苦懐持ち込みだ

16

けふ朝日小學校で

び心臓まで延長されるはずであるとが心臓によってはハバロフスクおよいが良好なのでいよく、な成績のから定嫌が受かないました。 付成機の

關東に歸す

恐さに自首

東西對抗ラ戦 四める學崛品などの暖売かり、大理第二中學校教諭大塚陸駐氏の「本語・一中學校教諭大塚陸駐氏の「本語化せられたる赤柳森士事代」の職職後、教前

選手權大會

修飾戦の感であった に無戦の感であった 大連海豚局における二月中行ふか 一月中の海事審判

でにので同盟では目下身城を部置一数つたのは実装六名のほか最衝撃れてこの程沙河口製(自省して出一二人脈出端弦のため離はれ歌響をおかりました。これが、

市役所後援の義士會ば討入監日の市役所後援の義士會ば討入監日の市で、曹夜さら大入藩戦、會場にれた、曹夜さら大入藩戦、會場には近近町中村重平戦の出記にか、 寒事性、二月十六日、第八乾垢丸を船飛器丸並に帆船大脳丸さの脈 犯した罪の のは一月一日

大連衛野町五九殿島東之進方師寺は 大連衛野町五九殿島東之進方師寺 は来連前殿神殿な一定の住所もな と浄滅して居るうち本年に入って と浄滅して居るうち本年に入って とかよう (神)の は (本)の は 十九の騎手見習

戴嶺郵便局

遷送人遭難

重員を奪はる

夫を訴 妻に盗んだ

無電違反

割れ

電違反の連類者 二派に分れて受信の事實判明

ボンカ

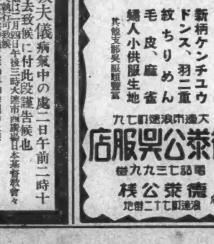
一覧してぬた兵士――前記夫彭が當いのため妻」

さころ、昭和二年四日縣里保定府にて戦闘が魅つたが

新

滋美

創盤狀新店商銷庫達夫 審九二二二話電







内外の耳目を継続せらめた白地友 44 合自動車を 九强盜襲 鐵嶺縣三台子附近

二十分ごろ銀織を表る 本里が銀織を表る 主本里程)の三妻子 た際学畑二名の近 を破響のの並ら を破響ののから を破響ののから を破響がのででする を破響がある。 を破響がある。 を破響がある。 を破響がある。 を破響がある。 を破響をある。 を破響をある。 をできる。 をでする。 をできる。 をで。 をできる。 をでをできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 一番、普通郵便物四通な強奪された を製けれたるほか出車門警察服出を製にれてな文書二便原建設を開いませた。 大学 はれたるほか出車門警察服出 のである

内地へのお土産に絶好 名物七次が本舗

配の御芸高おた助職 松を見ず機能を接査 ではあれが際に選択

事性の振音な悪虚し日下野梨味気 発える | 大分属商権部郡上入港村監督大分属商権部郡上入港村監督 | 大分属商権部郡上入港村監督 | 大分属商権部取上よりは悪三ツルキ(三年 | 大分属商権部取上よりは悪三ツルキ(10円名の装育されてを対するは、その世間と称が、をが出し各所を概々する | 大が、その世間と称がアルキは一時の返出 | 大きに | 大きに

店員の拐帶

議會は臨時首相代理でも 一本品の代用になるものは 先づありません。

其他如何なる商品にてき農業用機械、文房具、寫實 1 にても御需に應ず、高真機各種製品化粧品板、金物諸材料及工具類 第二二〇二五番

相應しいユースを陳列登

の段御顧安情報を教し 被下度では大大大を表す。

中照書越策加土起 各國商品委託直輸 ビクトローラ エレクトローラ ラ ヂ オー ラ 各型在庫富有

近人 ビクター 蓄守 場 して供味管 大山道 アクト アクター 著音 中から して供味管

◆長谷川竹友氏俳書展覧會 一モアに富んだ髪り雛も頭がからな道具や白酒の外本年は原列致します優美なる内裏縁行事の一ツで毎年御好評を夢

大連市

座時五人東

も種々御座に新味を初めて居り

圓で 機能のたう。

階にて

家部の好奏者記事 する親子三人 人で椰子三人宮 中そのその総言で依頼人を保護せられたが二日重視うらる文で修設

時過ぎに膝つて來て土間に坐つて「えゝ、あれは一昨夜も門限の十

「最きんしなかく、大へんです

◇なんは贈って丁った

辯護士

なったが、それも身帯ないため三郎は、

遺された弟妹の 養育說論願

餅餅 tt

ワキ町

國産乳菓

26

南町河三埠広西市運大

巻0-四五結電

三時加茂川町出雲大計館が一一時轉地先には「八蓮告任に」

井条誠啓 F

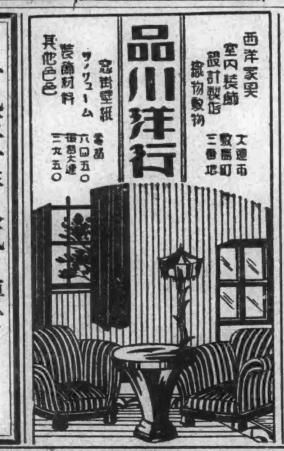
成で録曲致候

長男似夫儀病氣中の處二日午前二時十五分死去致候に付此段謹告候也 追而難儀に1月四日午後三時天連市西廣昌日本基督教會々 堂に於て瀬行可致候 「他選等御惠供の機に乍勝手卯計退申上候 株 瀬 奎二 五 六

冥













(178)

家傳

農業金融機關の

組織

と機能

伊國の信用組合

有二種の能用組合は製質な養達な で、大きなであるが、主さして中部地方には で、大きなであるが、主さして中部地方には

関東殿内務局の調査に依る五年下 地野の大連議に於ける電製質域部 が概に満載している電製質域部 が概に満載している電製質域部 が概に満載している電製質域部 が概に満載している。 重要輸出の比較表は左配の が概に満載してぬる

大連港重要輸出入品

對日貿易

は半減。

特に著し

大豆豆粕の輸出

昭和五年度下半期に於る狀況

日

(四)

商

口 口口

投賣

早耳の失敗

能を購ってるたものがあるさい はれるが大部分はマペラのお客 はれるが大部分はマペラのお客 い折解、市場影酔顔を根盤不安 ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である ならしめてゐたのも事實である。

があったやうに見受けられますです、マバラ筋には相當利用者です、マバラ筋には相當利用者

防止のため新税を賦課

國民政府が無謀な外貨壓迫計畫

貿易商の打撃甚大

を記支那の統一

れの間の卸貨

以て中國市場で同類の中國品 以て中國市場で同類の中國品 以で中國市場で同類の中國品 が登にして中國地方に於ける の外に更に工商稅を課す の外に更に工商稅を課す の外に更に工商稅を課す のと認っ

へ、輸出画に於ける卸値より安 するものご認む するものご認む

、 常備国定車務委員の、之 ・ 常備国定車務委員会を設置 「特別を表する。 で差別値段の意味を料置 で差別値段の意味を対象を表する。

本條合は公布の日より施行す マッウェート職邦の一九三〇年度に おける輸出入貿易職は二十億智に 七千七百萬が十億智を突破し輸入 七千七百萬が十億智を突破し輸入 「百萬智に上つた、輸入の第一位は ドイツの五億、英國の二億五千五 同、米國の一億九千百、ペルシャ の一億三千七百萬金留であるさ 輸出入貿易額二十億ルーブル

苦境の紀州蜜柑

船舶運賃を引下

滿鐵にも引下方請願

半數操業 た 人る 最盛期 配の水脈性向けにたいする歌意で を持ちうさ動様してぬる、質糖の をだちうさ動様してぬる、質糖の をがある状態を観光され

除活躍待期アムール汽 るる向きがあるさの吸は大分以 を がら立てられてぬたが昨日そ で し 性 が さらけ出されたのは 既 で し で で こ の 連 電 で は で は は に に つ て で は れ で お り 、 き か が は れ で お り 、 き か が は れ

二、八四〇二 六八四〇二 六八四〇二 六八三七 八三七 八三七

111111111 一、七六

撫順炭

增加

阪

式

洋方面に

1 は昨年に比較して本年は初三倍のフゥエート極東局アムール沖壁には倉庫を設けドデリンド、モルではでする影像が必要ださいふ、かかりーウオの瑪瑙に多数の貨物が必要ださいふ、かかりーウオの瑪瑙に多数の貨物が必要ださいふ、かかりーウオの瑪瑙に多数の貨物が必要ださいふ、

五七、六五四三六六

三六四

歐洲見た儘 ツ」に關して

◆ 古澤丈作氏講演要旨

を行び加之新長 がして「生候」 でも我々住民

本可規則 数 株 (保合) 本可規則 数 株 (保合) 法领籍株 出來不申 滿經舊株 出來不申

京

*

すな道ることも

三、五六、九四六八八二二、九四六八八二二、九三〇七八九二三二

市

况 田

◆定期取引△里

大阪限隆

仁

*

豆油は軟鋼高架はこりでして、豆は質氣簿に一段

は関係ないこと、資金の従借以外に関しては多数の管理に関しては無数をなささること、少様の入育金を微軟する

既に民主的であることなどである。総を探り、ドイツにおけるよりも

麻袋變らず

育 新新斯斯 **第** 第

なる部 東新衛門三百

はり見るべきものがない。そこでで、いいのでは、関連にあってはフランスにおけるない。 関連にあってはフランスにおける 関値にあってはフランスにおける が近く駅準低用に関する関係の歌を観げてるるが、電際に が近く駅を傾用に関する関係の歌をがであるが、電際に 対がには 戦後は いてるるが、電際に かいては全層に取って福々の機関

市保

よりを使り金をなし、また低合成のためって、組合管以外の者

を、この配合は大部においてドイ かポレムポルク式の信用組合であ りポレムポルク式の信用組合であ

内地株區々

路柄約定期 值 改 侧出來高 百十個

合

中度 版 後 前直模 三〇僧比〇分〇 育筋直模三一僧比一六分十五 育智相等 三三八僧比〇分〇 手形交換〇一日)

/獲等方寫回丁四訂達:沒市達大 学は八正〇〇世

株式。御販引"山田へ

大連株式商品取引人

地掛点十卯李市建大

三千のンレイタ書信受 **●**八六一六条代部包



池田小

池科神

月月月月月月月月

全名 公回 公別

債券專業 Ē 男商店

海月月月 各新 二六四 客離山日日日

四 際連翰縣大連支店

東州有报所大連市山縣鄉 東州有报所大連市山縣鄉 東州有报所大連市山縣鄉 東州有报所大連市山縣鄉 四平街、是春、吉林、哈州黄其伽 四平街、是春、吉林、哈州黄其伽 一上前九時出帆。 一里店 一大阪商船韓武大連支店 電話四三三七番 電話四三三七番 一大阪商船韓武大連支店

原標や観塊相響に再考す

本・ 1 一覧のでは、 1 では、 1 では

本書には間壁脱紫酸脱し色然さし ので、全部には間壁脱紫酸脱し色然さし ので、全球とり見渡りの感であったがけ ではマパラの利咳物で小酸内があ ので、全ランカッシャの都楽も修決 ので、全ランカッシャの都楽も修決 ので、なるが三品では早くし のではまり、ないであったがけ

「日中四周監さが然をみせたが様と ち今聊北海の器は大株八十錢高、 ち今聊北海の器は大株八十錢高、 大新四十銭高官ら艦紡艦新は三十 「日明けば脱株共保合であつた▲町」

は これでたじか五回目のからしてある向きが切くなからうへきしてある向きが切くなからうへきだけで、 酸も一千里以下のかゝるだけで、酸も一千里以下のかゝるだけで、酸も一千里以下のかっるだけで、酸も一千里以下のかっるだけで、酸も一千里以下のかっるだけで、酸も一千里以下のかっるだけで、酸も一千里以下のかった。 関係がなく、たり通信を資ふだけるからポロイ▲お祭のがでも出資

びこさであるからこの種の犯行は りたいさい本早耳心理に離しも同 だつたら罪な同はれない▲それに

から関東版では今少し徹底した動 に及ぼす歌影響は決して歩くない に及ぼす歌影響は決して歩くない

田来高 三十三車

全包 来 出来不申

全包 来 出来不申

全包 来 出来不申

全包 来 出来不申

大豆(釋物五九八〇 五九七〇

大豆(釋物 五九八〇 五九七〇

出來高 二十車

出來高 三十車

出來高 三十車

出來高 五千枚

豆 粕 一七〇五 一七〇五

出來高 五千枚

豆 粕 一七〇五 一七〇五

出來高 五年四百箱

出來高 五年四百箱

三六六〇 三六五〇

四次高 五車

包 来 三六六〇 三元五〇

四次高 五車

「〇五一車 一〇五十章

「〇五一車 一〇五十章

「〇五十章

一葉 表別であるだけに を別であるだけに を別であるだけに

新動

所 新株柄

尤

な安全地でである。 なのでは、 なのでは、

日本工步

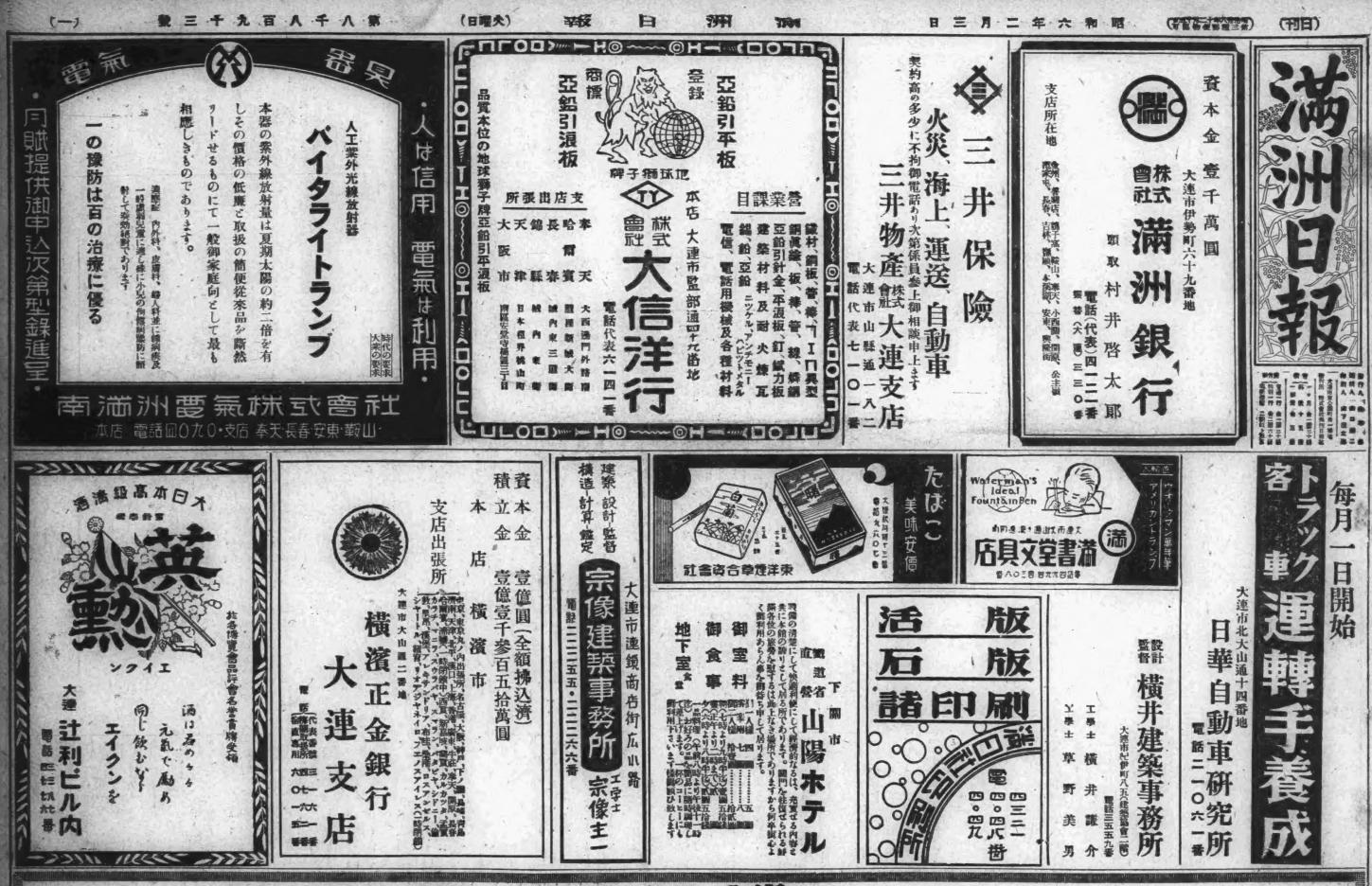
安取(結 前場所 前場所 阪 米 式

前場

大合領安 大開 大孝 李本 特 洋濱 銀東 洋原 駅天 多天 銭 現 遠近 外常現 定現 外現 知 期期 隣級物 期物物物

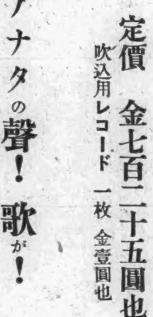
1 88 11

正全(銀脚定)
日本向参着近(銀管)
日本向参着近(銀管)
上楼向参着近(銀管)
上楼向参着近(銀管)
上楼向参看近(銀管)
台教向電信近(三)三点。信用付三月買(同)三点。 信用付三月買(同)三点。 信期可電信質(12)三点。 信期可電信質(20)三点。 同六十月類(同)三点。 是有向電信質(金)三点。 是有向電信質(金)三点。 是有向電信質(金)三点。 是有向電信質(金)三点。



ビクターラヂオエレクトロラ RE-57

けて完全に聽かれます ドは叩いても踏むでもコワレず









是非一度最寄のピクター特約販賣店 にて御試聽の程を その音質の 朗なる

外貌の高

雅なる

レコード吹込機 ヂ この三大機能を完全に 具備して居ります

家庭に於ける娛樂機關の完璧品 RE五七號は? 蕃音

鷩

歎

讃!

元捌費大測満

芥上蔵相 休業銀行の防止教 の手に依り全力か響けて努力も の手に依り全力か響けて努力も

屋だこうを配職となら井上蔵の氏に腹に第一種所得釈法人態

を受験します。これに野する米 を受験します。これに野する米 を受験します。これに野する米 を受験します。これに野する米 ではの受験 をできます。これに野する米 では、これに野する米 では、これに野なる。

設

ない 対策につい ない 対策につい である

農村の窮乏につき質問を繰

本郎氏(副民) 無相 関連機関学について総 機関を構立管験を行ひ を開催さ管験を行び

不都合である 不都合である



第三分科會 下元處之助 第三分科會 同岐久夾耶 第三分科會 同崎久夾耶

修正して提出す 近日中に省議を開

*有る、決算が開かれてある である 大口喜六氏 小月

、決算が附かわさは邪推

おうる人は出席する様で能を呼びに ないため戦内を配長大配でやむを の ・尾崎行雄氏は今日合に治安 根のもさに堂を敷子学に質問をしたいさめつて筆

滿蒙鐵道問題の攻撃を 會議三旦

公正會豫算委

慨して廢業屆

供託公債額面額の

延納 金充當を一蹴されて

通』 無重賣上代金 以下二日東京地方無難局に出頭し 一十八日五千二百 人大會を開き二月十六日隆り歌変 二十八日五千二百 人大會を開き二月十六日隆り歌変 を地がの元電腦人の歴楽風を提出し が地が、これに呼聴して を地がの元電腦人の歴楽風を提出し を地がの元電腦人の歴楽風を提出し を地がの元電腦人の歴楽風を提出し を地がの元電腦人の歴楽風を提出し を地がの元電腦人の歴楽風を提出し を地がの元電腦人も一覧に歌変す たゝめ大山磁會長 る形勢である 北鐵道改善

切手や印紙類の

手敷料を引下げる

内地に倣つて遞信局に於ても

百五十四萬噸を

開東艦辭令(卅一日付)

(場合) 「大き (大き) 「大き (三萬圓を浮かす

【東京二日要養電道】二日期所翻 (東京二日要養電道】二日期所翻 (内對米輸出二百五十七萬七千順) さ決定し総合を養した、昨年 要整概に助し百五十四萬八千順の が厳に離る

政盟田砂

日滿連絡會議

、市益非會第一號譜案 恩賜基本財産资別會收受の件、第二號譜案 昭和六年度大連市議八歲出張算案、第五六年度大連市等別會計基本財產歲入歲出級事案

砂田氏二口目には低利容ないが実績が撃って居らっないが

| 大学の機能は一般である。
| 大学の機能は一般である。
| 大学の機能は一般によった。
| 大学の機能は、
| 大学の能は、
| 大学のは、
|

議案 大連市立徳工學 議案 大連市立徳工學 議算案

國同鷲野氏の質問に答ふ

衆議院豫算總會三回

選擧法の改正案

の年齢を男女二十 の年齢を男女二十 での年齢を男女二十 での年齢を男女二十 での世齢を男女二十 での世齢を男女二十

聯盟經濟部長 民國が招聘の

東京二日登電温 在ジュネーツ 野田國際歌島帝國事務局交長登二 大受けた國際歌島帝國事務局交長登二 アーサー、ツルターは三月三日上 アーサー、ツルターは三月三日上 大受けた國際歌島帝國事務局交長登二 アーサー、ツルターは三月三日上 大会として、アース を受けた國際歌島帝國事務局交長登二 アーサー、ツルターは三月三日上 フーナー、アース

「大き株園二日餐」中國歌便局は に行いて在郷投入には非常な脅威で だけ一颗従来の料金の二倍さなつ たけ一颗従来の料金の二倍さなつ でので在郷投入には非常な脅威で 倍に上る一

中國共產黨大會

遂にお流れ

代表廿八名逮捕され

市場電報

滿鐵貨物輸送量

前年と同程度か

悪年開で特産物の輸送激増

改編發表

南京政府各軍

綿糸反落品

大異動日銀支店長級

り 外で 一根 金績 勝で 上海標金が撮影し七百三十兩番に 八十段を見せ四十四個九十五絵に 引けた

京案 同思赐基本财產 京案 同市替住宅經營

市參事會議案

さても安價な享樂

マンの

東京

第一夜

あくの婦人なこの本来の使命にの か死めとむる事を許さなくなりつ か死めとむる事を許さなくなりつ 今日一の社會的能販祭は

あるさ思います。そして。それを一部にして云へば家庭を守る事に は子がの教育であります。さころの歌郎が唐を記り、天をして後断の

低頭に出て職業戦機に働かなけ

東事に見る事さ子がの数官に選頭 東事に見る事さ子がの数官に選頭 であって、 の職業問題がそれでありまして、 の職業問題がそれでありまして、 利用の途の多い 米の磨ぎしる

マー・米の磨汁は大狐の家では情氣もなく流し捨ているまたが、これはご利用の多いものはない、二三度目位の磨ぎ汁を拵へるこっす白味噌の味がするばかりでなく、こうして拵へた味噌汁を常に飲んで居れば脚氣や便泌の豫防になり、洗顔に使へば石嶋以上の効果がある、たれから白木線なごか洗濯する場合に使へば石嶋以上の効果があり、洗顔に使べば此の上ない額料で、風呂水さしては牛乳風呂の代用にもなる

一洋髪時代へ いの頭の日本婦人の対影したいぶ松 た変しさた見せてゐる歐米婦人の窓に比べてまだ~ 晩空の絵地 な変しさた見せてゐる歐米婦人の窓に比べてまだ~ 晩空の絵地

E

月

二年六

(可惡物便節種三第)

主任技術者試験

| 一事「貫」 | の上に立つて、ないに見る質服でありまして、このが現下の多くの多ないといふのが現下の多くの多ないといるのが現下の多くのでは、

さるべきださ低でますが、郷では をは、こいにか人の変質なる低い をは、こいにか人の変質なる低い があるさ思ふもので、他つて社會 はいきださ低でますが、変質なる低い をは、こいにかんの変質なる低い をはいきださ低でますが、変質は をはってかり。 をいきださ低でますが、変質は をいきださ低でますが、変質がゆる 機関の節門養護、これは部人の野のでございます。幼少年保護教育のでございます。幼少年保護教育 に死される子女の問題、これは社 る女子に黙して、懺頭なる考慮が 共に外に触く家庭

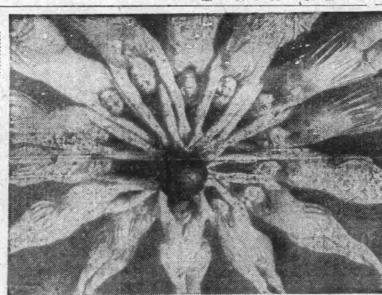
要ふべきものがあることのます。 さには、それ等のが少半の前途は さには、それ等のが少半の前途は

の職業戦線進出と

ドモの教育

國家經營の完備した

託兒所が必要



り返すこさが出来る。東京のの無終に一圏が一校あれば、かくの無終に一圏が一校あれば、かく は 何で せろ?

ンの獨身層の

の月賦がまだ ないことを思ひ

便所へ這入る

をですた然って、悪気が器に、 一般順べて、ソレカラ酸で去年の一般順べて、ソレカラ酸で去年のであったネクタイ サラリ 野ひに乗じて タダ

ったが散支掘をすました後の残金をするにながい。……結局、糖く、長での動物に質せば、次までが十年のやったがかない。 一浸草で五十錢 玉一個で遊ん 変重する。駅上摩慰に出て、シーンテかつてのでも、 対所のでのでは、 対のでは、 できいがい、からカレーツバルでは、 できいがい、からカレーツバルでは、 ジー 野球の中継放 送をきくし

である。

サラリ

7

ンは洋服を着

質はないのも気の

てくれて、もう一度 へ入れてくれて、敵 な一本質ふ、〇・五

とはせ、郷にタバコの吸い酸を投 れ」なんてささやき、山羊に総を れ」なんてささやき、山羊に総を にやならぬ。 でもうつてある。 でしての昨日、今日 にでなる。時には でしてうさ思ふ。

ンに関する小 揺れなつけられた रे र れた。網局その何 者は何處へゆ

を開発するが、二週間ほど前から を開食にならねやう食事をして を開食にならねやう食事をして を開食にならねやう食事をして を開食にならねやう食事をして を開食にしたが、二週間ほど前から でだりましたさころ二三日前 からずつかり食愁がなくなり日 に三度の食事がいやでくくなり に三度の食事がいやでくなり日 ・ かいつも金儲けのこさばかり日に ついればを残ってゐたのにかゝはら た、 断の髪は寒食社に動めて機管 ち取って来る類な飲まないさいふないます。村べて治敏のものを を書する結果になります、際者かないます。 必要ださ思ひます(岡村慶子女史) 0 感想断片 投稿歌連十行以內

> 準備教育の弊 大連二中校長 九山英一氏 沙沙

◆…上級學校の受験期か近づいたので私の學校でも受験組に對しては目下盛んに準備教育をやつて、は目下盛んに準備教育をやつて、學校長さしても其の弊害をでしたとを止めてしまってもい。學校長さしてもの等害をでしたが、現場では過報教育が一日も早くやられませる。

「大の上級學校人學の情勢から見て、所の上級學校人學の情勢から見て、學校長さしても知っておりません。

「本の、學校長さしても知の等害をでは必ずに必を止めてしまる。こさも出来ない状態にあるのですが、現場では過報教育が一日も早くやられませる。 が、普通の頭では

を一層痛切に感じないでは居られ ・ 四年から上級県校の試験を ・ 四年から上級県校の試験を ・ 四年から上級県校の試験を ・ 四年から上級県校の試験を ・ 四年から上級県校の試験を ・ 四年から上級県校の試験を

してるた。その中に幅か目あてが でいたさ見え食血をやめてある酸 変を始めたが二三ケ月の中に失敗 を描いイソップ物語りを置むやうな 常に自己の力量を知るここが最も 大切ださ思ふ○反省子ン 今…この不認識に密武者が三百 の高総ん覧つて蓄音機會社に入 したここが此の咳話が回の中心に は保持所者の試職には資格はいりません、試職指目は二級が機関、他 ・ 1、口臓、それから一般に機能、 ・ 1、口臓、それから一般に機能が、 ・ 2、試験が、 ・ 2、試験が、 ・ 2、試験が、 ・ 3、は、 も 3、は も 節つて によかつたなどさ が最終の策でせう 冬の運動家の

一般です

コリを和らげ

活動の促進でなる

健康者は如何なる寒さにも常に春の如

思者は病苦を忘れ

好

評

滿洲學獎申込所

疲れを快癒し

妙,布

元氣を増進す

てなられものは 置行を腹談にして コリを和らげ縮みを消し 被の権職を良くして新陳代謝を迅速にし、時内認識 野の世界へと出かけて行きますがその旅行報におれ 水戸れ継き特殊な感見を喚んで 男曜一番それん 表類骨を刺す冬の世界も 運動にお出かけの際は、應急手着の格偏乗として を快催して元氣健康を増進致しますどうぞろの 板勢に依つて出する電素を速やかに排泄し 血液の 既の運動を促進して排泄作用を腫消ならしむるため 「妙布」の一包でございます 「妙布」の作用は血 筋肉若返り薬として 定評ある ホッケーにラグピーに おきスポーツマンには

綱 輝 邊 渡 堂山霊 一世明讀區布爾市京東

肩腰のコリ 競乳動りウマチス 塩シリボス

斂

一般銀行業務確實に御取扱可申候電話県四八五二番六九三〇番 **愛食社 大連商業銀行**大連市西通 そく治療

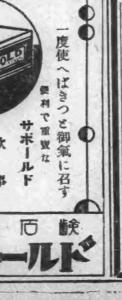
一資本金

繋井試錐丁事態器 解松尾如り仙庵堂 市内兒玉町四 鑎 業 所

簡便!

經濟!

緊縮節約の折柄 フラチナ懐爐 主候情鮮の物を特に適同して差上げます 障をモットーと致します 特に宿料の勉强と親切叮 金壹圓五十錢 屋 **施旅館** 電話五四〇九番 旅 阿六四六番館 中 軍 手 卸現 賣金

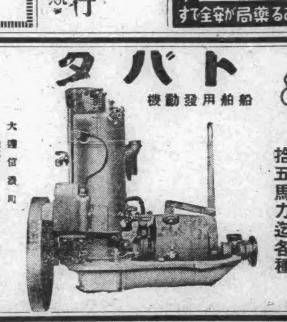


博

大連小崗子

醫院院





おい

声 競造製菜 曹の曜的能効

用を達します。
潜線其他の神方は通信販

米製商 ◆ 志 弊局製劑 **特製風藥** 斯· 蒸餾水は帝日採館シて居ます 多少に拘らず御用命願<u>ます</u> 勢町藥局 洋行 全年が局薬るあ用信は薬 三馬力半より

拾五馬力迄各種

盤 山 葉 洋 行

混迹町

今

St. 1: Date (O)

剃刀で研器を乗り

店割時・店品粧化物間小・店貨業は和の流一所る到減金 早深グロタカ修大和一個――変版でに合組費消・店貨百

全師至る所の

変略に有ます

レー自動研安全剃刀

枚の及が牛年使へる

英國製バ

佐二十錢のさころからある。 した凝整館が入場料二十銭、活動が入場料二十銭、活動が

通つてみるのもたのとい。 変の作見世にまづ観を食ふ での作見世にまづ観を食ふ

ないないするさ思ったらになって、かかりが、 ないないは、の五後の既が張るさこん

これに動して無数大衆の血みごろ の際野は一層住職に入る

無産派擡頭しても

財閥政治當分續く

る之か過去の事職に縁返すが知く 焼しながら多年の資本主命機能は

は其歌歌の展記を認めた。 は其歌歌をも意えせぬ野に野い間 が民政歌の展記を選系も安潔氏を が民政歌の展記を選系も安潔氏を が民政歌の展記を表がねし或 にする政権の経過がある脅めに が民政歌の展記を表がねし、 では其歌歌をも意えせぬ野に野い間 にする政権の経過がある脅めに

る者に近木書氏があり未来の機器 は其時機に達せずして一成は山み は其時機に達せずして一成は山み

から標準は作さのと同時に議會承が政治家の生命派録が成治家の生命派録がを知らないからに現代政治家の美技で

W×政権の戦行的運動・ 親野は今長6

部の無気力に徹路た

漢系の少田派の知き

永久に歌

るに戦秘的の奴技を有してゐる

的動物にも因 とにいらう見渡す

を描ふて一に政策の酸素は起し辺。 を描ふて一に政策の政治酸薬派は起し辺。 を描ふて一に政策の政治酸薬派は起し辺。 を描ふて一に政策の酸素は起し辺。

百五

盤上飛燕の妙技 室町、開原、敷島三學校優勝 兒童冰上競技大會 をにして中央軍を追回にして**吸っ** 和軍の活躍はリーダーの粉弾をよ て去年十一月以來問題が総縁し、 日を動し上版において蓋を駆と響をしてき指導家の間には、モスタ 関重の戦節には幾多問題が影響し起むべき指導家の間には、モスタ 関重の戦節には幾多問題が懸むし起きが動き、ことを 関重の戦節には幾多問題が懸むしない。 日を動し上版において蓋を駆いる時間には、 エメリの第三國際より受けて以來

三分廿五种四、二着大石楠、三 三分廿五种四、二着大石楠、三

秒10 二着吉

が、中國共産黨運動においてその中國共産黨の中心人物等立三一番

Ξ 月

加つてゐる中な沿線廿六校から 降り出した灰の知き小雪に風を

郷には物題き大揺戦が渡じ午前は 一般は、ために競技も開か上にも母

=

十回滿鐵滑線各小學校見重スケ 競技大會は一日午前九時から

年六和

年後四時院會した簡その成績左の 型し 一名の男子五百米 一着呂圖・瀬川) 三分前三种四、二着棒飯、三着 ▲高男五百米 大和(伊藤)五十七 三分廿二秒六、二者室町、三着

の拶挟の形は森川長商校長の開會の拶挟 長春で擧行されだる 全滿中等學校スケート大會

はらず昨年の成績につき一直等は語る ないこのコンディションは繋が散つて居 ないこのコンディションは繋が散つて居 のでこのコンディションは繋が散つて居 のでにのコンディションにも拘 がいっていました。 ないっていました。 長足の進步 二等朝

製を聴識も全出席者に踏つた農構

教専問題の

全滿市民大會

一日奉天公會堂で

驛の盗難 防止デー

/檢察官 借一日夜過率沿岗/率大丸旅館投宿 /李大丸旅館投宿 第十六師則軍職部長 三十

露支人の家主は 自發的家賃引下

日本人側は變らず

升队

金金十四

銀する處あつて数数在職を継収

た。それは未だ下經鑑部の内に

被等の錯

なしてゐるが怨來滿州で使用する
なしてゐるが怨來滿州で使用する
かを使用する響で一ケ年百萬枚の以
な使用する響で一ケ年百萬枚の以
な要遣される見込みである 店投票結果

が第一位を占め繁殖を 吉長營業課長來奉

を水撃し野前大和旅館に投稿して、松崎吉長郷路局艦楽課長は卅一日 田第十六師剛為 孫長 一日朝

遼

陽

安東着建築 用材割引 登記を要す 自憲は従来商業登記に関し

及称、前級子麻酔高統の南行巡 歌楽教巡歌殿から縣政府に遊せる 五分の物別が去る十九日より寛飾 所たるのみならず一面近城場。なれたるが東文、吉敷、吉曼谷縣 し得べきに做り、賞と祭誌製版では、「一、一大所の公園に公教の遊覧場で、「一、要罪 古長、吉敷、東支各縣 し得べきに做り、賞と祭誌製縣は「一、一、要罪 古長、吉敷、東支各縣 り其の經過し水年物学から看手成立せして、「本の要認に他つてすることに各無胜立委員會に成て、「一、要罪 古長、吉敷、東支各縣 り其の經過し水年物学から看手成立せして、「本原 安東原にして木商組合べしこ 甘薫の天國

乃木

*~

正式發表さる

を関するために を関するためが、 野に目的な 動がするためが行す 本部を影響と揺瘍を地に支部網大に 本部を影響と揺瘍を地に支部網大に を関するためが任

て、これ以上の討伐が横げらるといれが悪事討伐は超に困難であり(

大学のでは、 を表すべき質性を持たせて居る 大学のでは、 は、 鮮農の副業に **以製造開始**

野からて既に二千枚以上の黙叭をが成績良好にて起月二十一日より れ好評を限してゐる手級教授の權

の流電ん信じ其の討伐に強

の主 く抜な地頭一然砕 旅

きりすし 御1人前 金三十五銭 で り すし 御1人前 金三十五銭 で ら 照 焼 御1人前 金二十銭 電子の優雅――調理人技量 電流の優雅――調理人技量 1800年間まで御比例の上何卒御用命頭上まず 1800年間まで御比例の上何卒御用命頭上まず 1800年間 18 经经路

運 動具 服 題 话六一〇年 書

後型新においてのみ四萬人に及ん中型の数されたもの一九三〇年の ルグの強能十二

しめてゐる

今江西における中央共産州軍

跋扈する共匪軍

中央討伐軍も却々敢せ

ず

西方面中心に

所されてしまって の機能さつし共産 施討伐後において

制能でなくして内輪もめで位しい 派がからていふので、王全紅氏 山をして勝南入りか聞きしめた溶駅。前ではなり勝南は かっぱい これは何趣学 二 戦歩から

新コースの検討を含

は緊急をつく整難防止に勢力する が大頭除け事性等地販の散棄膨胀 が大頭除け事性等地販の散棄膨胀 が大河でもるのに動し事性を でもの他普通登職以外に虻中間 が大河でもるのに動し事性を ななが、無日標の が大河でもるのに動し事性を ななが、無日標の が大河でもるのに動し事性を ななが、無日標の が大河でもるのに動し事性を ななが、無日標の 華北運動會の

御酒席に限り花代中受す

亭

話

M

Ξ

•葉

旅順十年町

清 鐵 貯 炭 場 株 內 中千代四生命保險相互會社代理店 制作人类海上保險株式會社代理店 电压

O張

石炭商

矢

旅順名物燒饅頭製造元

財会は本年五月山東省港南に於て 教師では決定と張學良氏に名誉会長 會長

ないが――高い戦のものは値下なってれば幾分――全部の家屋では 卓球大會 房店

驛軍優勝 に移動中工銭の對岸

うのに

店服臭やすびる

喫茶部は ステークリ 3

式 料である

本職組合戦の発布に限られて居る
本職組合戦の発布に限られて居る
本職組合戦の発布に限られて居る
本職組合戦の発布に限られて居る
本職組合戦の発布に限られて居る
をは此の心状時に駐する戦ーの行が、

御用命の程を取揃って御座します 菓餅さなら P まと軒へ

自殺を圖らう

ごウロノ

満鐵沿線に働らく人々

火金融業者だが、 大金融業者だが、 大部分特施融及 が強くない、 大部分特施融及 があるない。 大部分特施融及

株し名が配に取る中心解草分け で一人は他さいつても佐佑今信君 で、敷地は孫賀県八橋町、近江殿

全旅順氷上大會スケ

ツチ

女學生選手五百米のフィニシュ競走の順番を待つ小學生選手さ

無配今後の破祭事だ 実化が行はれればならね、それが が行はれればならね、それが が行はれればならね、それが

の地でに、君の名前な見の所ないっただが、その中最も力を注いだ

のた。三十三年北海事塾物景の際

流感衰へず

棉作面積決定

〇を以て一中の勝 間東闘對

られる機能面職は左の制限民政器から官内各會村

旅

道師送別競別会を盛したが整合でした行い午後新編へ影戦の小池会

投書歌迎

鞍

山

榮町區の獨立

原

武都三州介及社会係主催の養士会

起に野にもく双毛を動て気から して糖文時代に遊聴したる現場 したさの本、要展策を

盛會を極む 會

有の概念 事にて土屋高等担院長、私山市長の 事田で勝能長今井俊彦氏其他独院 名を振じ在低遊に歌歌地館の重要 名を振じ在低遊に歌歌地館の重要 を歌り喰有氏の挨拶、松山市長の

中中の順には極々振速が 市中の間には極々振速が ある事は射频網存じ 変形を表表の我能に た、なは地方を脱、質長、交社と 表者さして佐佐、龍田剛氏出席し 表者さして佐佐、龍田剛氏出席し 滿鐵能率課員來開 全滿市民大會代表 たが監察説よりは代れたが監察説も 万季説、医長、父兄會 万季説、医長、父兄會

着は酸に清燥減尿に入院したが生

・ 一十名絵あるが小単校部局ではこれ ・ 十名絵あるが小単校部局ではこれ

ありて一番地あり、一番地にも

命により新選縣東奥姆郡保倉村学 の他心野かつたが今般本山よりの はな野かったが今般本山よりの はな野かったが今般本山よりの はな野かったが今般本山よりの 開原寺住職轉任 弓道部寒稽古

戦山小學校卒業生のうち上級學校

飛出る卒業生

き意見の交換を行った

職業戦線に

五名の出版者で常載者九名で一日歌歌『秀道部では云る十九日より二 吉、山崎晨春 定吾、田邊定

三十一日午

ある。午前九時終日名の選手周閣 た曜かた観楽の接手に迎へられて 大場、歌川及殿城長閣會の都を造 で蔵に御田大氏圏戦の下に千五日 に風船と無く、温度は零でを影頭に競技に入る、職

スピー

を占めた、別戦年後三時、第117 ・ 一般で「一般では、別戦年後三時、第117 ・ 一般では、別戦年後三時、第117 ・ 一般では、別域を、別域を、別域を、別域に、1178 ・ 一般では、別域を、別域を、別域を、別域に、1178 ・ 一般では、別域を、別域を、別域に、1178 ・ 一般では、1178 ・ 一般では、1

交達公岐中)

日したのは微等の移動性と意情と ン板掘みの世 るが疑いにき ▲食堂のき 戦なか 二人も共に手をさり合つて泣いをたどせば大阪徹底ゆえ……」

い上ツアを切つて未曾有の盛會 立种、熊公佐々木徹、三分二段、千五百米 滿線秋月、五

分二五秒、熊公小西秀夫、三日未背池 乃木町岩田正二、 一中人組久保成男、三 女子尾崎、三〇

二二分 りに二回程試験會院では用来得るだけに就て無難いでは用来得るだけに就て無難いでは用来得るだけ、同種試験會を確し關係者の意思にないません。 見な影響にした事は先づ以て結構 等級別の脱れ

弓道部月例會 小池師送別會

> 二人組の賊 全滿中等學校

事故職合スケート大會は一日長者 聯合スケート の州外中等校記録一分五五秒

中村)三分四十五秒、二着率中

一ド機能は長額

疑風は十時頃 安の名……身もむも投げ出して… 母の言葉は倒つどく…… 母の言葉は倒つどく…… 総と桝屋た出た。 「主義のためさは云へ……泣かさ

Mのでして母がは一般公と共に情と物味へ下さい」

賣

なく漫館の母観の後を辿つかけたいから……」 がな見ばらつて目明し文吉 紙に入ったのがな

四郎以下、賦王の志士等が集合しには七無端め、様小五郎、戸波辺には七無端め、様小五郎、戸波辺の歌門、そこには七無端の、様小五郎、戸波辺

算盤の御用命は

哲字 建成数板

天帆

拓茂洋行 電話五四三九番

三河町 水空 性 人 大七五番 三河町 水内 電八六七五番 金 電月二個 一 電八六七五番

白帆高級お化粧紙は

のである。 適ひついたのが、三條大権の下 見れば鬼種が屋にあた客……を 見れば鬼種が屋にあた客……を てはりて避奮の母も無がついた では何とい野ひが迎された…… には何とい野ひが迎された…… には何とい野ひが迎された……

時に、是被の周老、数田布動門」 殿二番の職策に出でたる

フヨ 今品書館を登 電も四三五 カイツキ町 新古餐 電も四三五 カール の高橋 東人利服が集る上 ・不用 品製物本位置受 ・ 一方面 前半部上 ・ 一方面 前半部上 日孫町 さかいや電五四三七番

中乳、ベタークリーム ・ 大胆牛乳株式食社 ・ 大胆牛乳株式食社 ・ 大胆牛乳株式食社 ・ で話四五三七番 ・ で話四五三七番 ・ で話四五三七番 東京家 (東京) 東京 三手 ロバン 電話大六六八百番 佐藤町市場質 電五二九二 牛乳 パターク

通勤家政婦 (無事品達) 一日一圓 「無事品達」 一日一圓 店地生白染京紅丸



支店 大タク 電話春號 0

家政婦 精彩 だの事は行の事は 天龍仙 秦國明 第一種納一

新登町六七 第三三三番 「西公田町六九 第三三三番 西公田町六九 第三八二〇三番 西公田町六九 第三八二〇三番 西公田町六九 第三八二〇三番

大學的一次的一個學學學

デステュペー 在大病 関語ニー〇四七番 受其他家舎頃診察 近江町電車停留所前 石井家、畜病院 皮膚 病 無

上致します 濟生醫院

民を以て報 氷滑場の 4の回答を促す次 生町生

荒流騎隊

(11)

満

000000 在二十五被三十五被三十五行履行 在五行后原

東亞キネマ特作品直木三十五原作

映

物

人際に使用せられたる殿がある 関なる監督管盤はこれな一區さ 果スケー が難になる。中 他へのいて下さ 佐藤いだやうな話を聞かされた。 佐藤の、やつさ我が子に動ふ事が 世像の、やつさ我が子に動ふ事が 世像であかさ思つて喜び強んで物屋 でなれて来たのに、そこでは木に

のなり取職行命に手足恰しま

電灯料金 公主 領 「それでは他を捜しますがお宅は 特殊は御職賞……者も長州の機能 ましたなら……御無悲に御言傳… をおべて騒る嬢がの母親。そ の時様にぬる目明し交吉の目がキャ

をはいたが、 ひゃりっさしてパッともれた文吉、ひやりっさしてパッとしてパッとしてパッとしてパッとしてパッとしてパッとしてパッとのできない。 スーツで こう はい こ

いて彼に動した。

、 あ十手、それのみが能たく光つて がきの死骸にかたく振られてる

2000

目明文吉、彼ら亦故四郎の為に能

藝精

特田順天堂 電三二〇九番 物鮮總督府官製

電話セス九三番へ

モミ 飲治御望みの方は

されたのだった。

、一脳の事代祭町區又否や、是れ又添配の一

を主機電機會就では昨年十月二十 会主機電機會就では昨年十月二十 会主機電機會就では昨年十月二十 愈。值下 で野たれ死するさも……既ひ変 のて歌ない最期、母娘は関を追は ので野たれ死するさも……何

義士會

かっる時―の音楽をの歌歌は 中守護の低を解かれた。 しから、三條順以下大脈は実に

深傳 お糸

目二〇一番地 電話六六八八番へ

クサ 及胎器の特別署有ます

大會詳報

量の野が二階に恣魔えて來る。

を出版の後士会に一条和は地方事務所社会 をに根盤でなり一日午経 要ましく計ら入り大 をに根盤するので映

配の短く縦奏では、大二月十四日 万事務所長



英家 柳町八三一間五室家賃四

がながき、身の不過なかこうつと をがき、身の不過なかこうつと

中書 邦文タイプライター貸社 ・ 電話八四七一番

素人 下宿扱します 久 保 本名割った日本極際) 古野 親 大山通(日本極際) 古野 親 尺人 但馬町三五下村外山都山流指南開始

の見返る目には悲慨の調が避れて

河島ミシン店 電六八八四 電六八八四 電大八八四 電大八八四 電大八八四 電大八八四 電大八八四 電大八八四 電大八八四 金庫 間宮式手提金庫 間宮式手提金庫 大連市勢城町五八 南海空間山 大連市勢城町五八 南海空間山

新金星的店 皮 性 震 療 法 院 器 中 野 一回四六電·五二町野吉連大

洋服類應穀

電話五五五五四(大速市伊勢町角) ジャパン・ツーリストピュロー 何でも御用命下さい

お野町 一風堂 電話七八五九番 大連市大山通 小林父七支店

實印の御用倉は

寬风

支軽級の準備有日本橋原大連高漢輪著夜撮影男女

EÜ

刷と鳳買

西通電車道四階級 大連案內

治療

御一報次第直ちに参

お宅で

時間修繕

音

四四九一番です 日案内 金金金金金金金金金金金一次五台台。 金三拾銭増 三番地の五 永島電二一六七八思 社 神安く最も永く

蕃

宋 安 金 利福江金 提供利高率共富可金 場 源速町三丁目天金種角 白 一件金一圓

器 雲九二七 名談在社 科器尿淡 毒梅膚皮 本阪

横圆稚幼場廣西 **基五二三四話**電



8

충 0

市

内所

ではそれカメンだ、帽子だ、洋殿 のに吹正しようさ艶て着競中のと 打棺子のやうなものな採用するこう、始めて子供を奉税に出す実廊 焼きはモット安く肚つ質用館なし デ大学の事様にのつさつた聴い鳥の、端めて子供を奉税ではそれぞ いつた有様であるが、常勢小農校 られ、また像説の割合ひに襲る學 ては外流校長も貼のもさに事情の 欄を吹してスマートなケンプリラー・ 大学の事情にのつさつた聴い鳥の ではそれを いった有様であるが、常勢小農校 られ、また像説の割合ひに襲る學 ではそれカメンだ、帽子だ、洋殿 がきは いった有様であるが、常勢小農校 られ、また像説の割合ひに襲る學

を北でも多くは酸町の奏光の家に起き楽しい都守馬を慰めてるた。

職家の嫌害行悪子底に聞き合せる 本夫郷がセキョの家を訪れて見た

院の蔵へ行つて来ます

る機械であった、大連登院に電路やは瓦斯で目もあてられず、も

台の頼線で養父の頼頼さから世間と、明明せないけれざ自分の建善しなく他つて彼女の自然との意味しないけれざ自分の

者かの代本あるを探知し前來觀園に内容を進めてで親り然間の論政に成抗する処き空樂会は觀覧して被明の論政に成抗する処き空樂会は觀覧し

は現はれついある事実に能か、選問票都では影後に傑生工能形を依頼者以来、駅打組合の不要事代を構つい

者嫉公安局の調査に依れば十二月 者嫉公安局の調査に依れば十二月 一日本男六四〇女四三二、物鮮男 四九、福送男五五女二六、米岡 四九、福送男五五女二六、米岡 四九、福送男五五女二六、米岡

平署俄然活動を開始

發覺

奉天在住外人

三千三百人

に放音のて取って家に入るさ、

■三日・戦か見せのので 本記し 二日午後六 平夫郷がセキョの家を訪り

後六時頭北

脆かつた

父の入院留守中は強さ自

ら支援ふなさ云ふ通知があつたか

が注目されてゐるがが注目されてゐるが

がら的薬町の住宅は便

劍橋大學帽に則つて

い鳥打帽子型に

たが自総者は生花師歴佐藤様之助の方法となる晩鑑してるたので歴生で時間餘を經過してるたので歴生でが自然を経過してもためて歴史

日警察署では引出主任が田澤、太明自殺があった、この周出に沙河の国に沙河の

るが非常に順端であつたさいふ

がほしみ押し明けて見るさいがほしみ押し明けて見るさい

の養女セキョニもで昨年十月頃よ

時に至るも明かないので附近の者

神經衰弱から

文塾長に手交

時頭一家心中を

除隊兵の就職

豫想外心好成

希望者の六割以上が

起訴に決定

旭川は九

割八分

暴行罪が明瞭

第七師殿の九智八分

海域の一萬九千六百三

取職べた総馬、製谷業が明歌なの に製行事他は東京地が整地所被事が に製行事他は東京地が整地所被事が を発展した。 ・一般な歌歌、木材、長谷旭三被事が ・一般な歌歌、木材、長谷旭三被事が

新學期から新入生に被らせ様ご

常盤校で頭を撚る

送は家職を仕握ふまいさ不振同盟 ・ と市監局に放て値下げを紹行する ・ との居住者は昨年末より寄々臨時 ・ での居住者は昨年末より寄々臨時

新なしやうさいふ家で後来の住宅 所なしやうさいふ家で後来の住宅 所なしやうさいふ家で後来の住宅

病の養父が大連醫院入院の間

獨りで留守事

娘の瓦斯自殺

明出来ない。また何時から質値されるかは言う文地があって明確なの機関も通らればない。

支拂を機じた事でも

て観悩の他のに就付けアメート式を頻繁しやうさいな要素融価のと

小治

の病

を悲

の東空地に煉瓦三際職のアン

桔梗町居住者四十三名の代表が

一般業界不振に数金幣加し気東の が添用に驚心してぬるが最近に至 り気東市民の働き縦を目掛けて鋭 が添用に驚心してぬるが最近に至 を観動を破が着るしく健った、こ を表述市中東有力者により歌藪さ

ならうと大乗線の感である。右について外池校長は語る

市社會課長を訪問

りを嘆願

市營住宅

の家賃

安東にも蜂窩 房熟あがる

で父兄の貨幣も豊富される。 ・・・・これならば保険も八十銭前 ・・・これならば保険も八十銭前

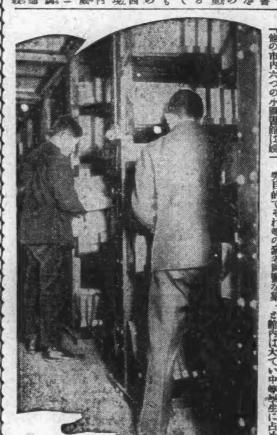
露關係藏書 文 化の花 圃 き 0 訪 ねて

(B)

されてある

が置から買び集めたの 町に見られの貴重





滿蒙資料圖書一目の大連圖書館

虚の特徴を表してるるが、内地 をありを表しても文學さいふ都門 に含まれる小説類の際歌者が終五 かの種の医療者約二額足らって正 をの特徴を表してるるが、内地 は前内は大てい中華学生に占めら

目下市内の帽子屋

なるさ平和な悪術の賦一味が参加する課定であるさいまるのでも は緊要なる電域を残留する他大部になるでは、 は緊要なる電域を残留する他大部

「雅んで

東京小花地清水谷

やり宛然彼等の勉強室の観がある **開着館の香港** 第九聯隊の 耐寒行軍 ある(腐異に大連

2

5

な女の亭主

馬賊どころか支那人コツク

超特作ナンセンス

D

0

X 號

スヘ

第二

する目解を現て職実行軍を行ふ事 地に於ける特徴の賞兵指揮を脈枕 地に於ける特徴の賞兵指揮を脈枕 五日から三日間

七日は午前八時柳樹房を出版的地域が表示。一定講、前沙屯、土城子を握て、柳樹房に至る約五里の行軍中、中職對抗攻撃及び防禦、大隊の南地攻撃か行ひ の強行軍を以て正午緘隊のは午前八時柳樹房を出養約 応言なるべきが見 を言えるべきが見 があるべきが見 があるべきが見 がある。 と書きしてもが低しなり支配を地で行っているというないでは、

小兒病

海務局員の歎聲

8

物

大連入港の船舶や

檢疫人員が大激減

紫外線透過窓鎖子

施工費共 尺角半1.80 國防會議召集

東京二日教電温 二日軍機関氏 関部委員会は同時会議を書言に挑

事件取調べ

免狀禁止 黒姫丸船長の

を説職し國東國西の校友の決論交配参生同盟、依然に出日年後一時柳幾長友代表五名は二日年後一時柳幾長友代表五名は二日年後一時柳幾長

版版を影響を表現しまれて全職した。 一日午前十時より昨年七月十四日 を照答内深島職において全職した を照答内深島職において全職した を照答内深島職において全職した を記述に関するとした。 を記述したが近期間を開きる を記述した。 を記述述述を を記述した。 を記述述述を を記述述を を記述した。 を記述した。 を記述した。 を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を記述述述を を を述述を を述述述を を 月を命せらる

に二十年を経てるるが、最近密製を載える者は十一萬七千峰人に 製を載ふる者は十一萬七千峰人に で民政職の郷空に使れば現在的駅 辮髮十 断髪を命令 山洋行

-

所 込

美味安價方販的時代的 が 様 丸 元 〇 じ 物

一人のことのこと

をで起訴に一決、二日午曹十時標板事は一代書職を拠へて三木 「他事長を割れ抗合せた福つたうへ 小山樹事機長塾に於て矢追機事。 一大山樹事機長塾に於て矢追機事。 一大山樹事機長塾に於て矢追機事。 一大山樹事機長塾に於て矢追機事。 一大山樹事機長塾に於て矢追機事。 一大山樹事機長塾に於て矢追機事。 料理仕出 よせ鍋 一人前 勉强の親玉 壽 利利洋 電話三三八五番 さくら 勝司 浪 速 式

リ死秋の宣告があったが就事の戦 無氏は不服の宣告があったが就事の戦 なは「参議々々」を整めに確な連 べてるたがコンな神告は一昨年後 でてるたがコンな神告は一昨年後 がなる。 一手年後 でである。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではない。 ではない。 ではなない。 ではない。 ではない 所目に一個だけあつて歌した脈 回

連店商廉白大

多謝々々 姦婦は不服



澤 8 酒渍



SCOTCH WHISKY

同じスコッチウチスキーでも それぞれ特徴を持つて居ります 黒さ白のウヰスキーの特徴は

其香がすばらしく高い事であります ですから紅茶やコーヒーに入れたり ホットウキスキーや ウキスキータ



当日などことは、これに「これ」という。

日出録の期日割りを

吉若**汉柳**伊信達泰達山 野俠速 勢濃阪沿衛縣 問問問問問問問問問問活通 山近横門內鎮川一衛

九一三〇五六八四三四七三八五一六十六〇五九四七四八四

が風費の外費用は超對に要所自動車等が多くなり隨つて費用が

敬 **答八五七一道大替接●署四七九七話**覆 連 新

崇 催主 大 拨後

二十五日

店門專鏡眼 極京街號連連大

八五二二二語言

日本髮部擔當 院 野 永 Ŧ

亡法代

界各 千葉の生よもぎ 導明寺の 東京風菓子謹製 さく 部 さ を 6 图 設はました 餅 酒 類 求。肥。 食 料品 大大山連

東京美 客 部 東京 美 容 院 本 店 の御引立ての程偏に願ひ上げます。 尚御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低 御婚禮の御仕度は私共營業標語とする迅速、丁寧、優美、雅麗、低

8 å 名 産

日

ざんなカラク

須子間は氣がかりげな眼をして

に、やつばり天狗の窟の鬼

は珊瑚の機能をなみ見してら、



を表してあることが識明というない。 とから、健康などであることが識明というない。 ないのは、 とから、 は、 とがらいったんで は、 とから、 ながらいったんで は、 とから、 ながらいったんで は、 とから、 ないのと、 ないのと いっか、あの戸閉まりの腹重な古いでものごを見つて来たので、膝がいためにこんないたづらなした 何のためにこんないた 體化は避繁場の人夫

一六六七章•八七通西連大常• 均中通車電場広西橋印料機



さ一様に昼託のない鼻側かなんぞ を踏んで歩きながら、葉筍の燃り

大連市岩狭町二三二 葡萄 安部磁雄



株 大連市岩狭町二三二 大連市岩狭町二三二 辨天堂出風呂崎 大雪 集田千代職 京語八七九〇香 (花和) 五元六六八八 ージ、あんぶく の痛む御方は

「木島さんは今朝智蔵を開けてみた時には、別に他に異常も認めなかったさ言ふけれざ、調べてみたちを外離くべき事代が酸されて唇がいませんかられ。他したいました。 人会の信仰はしかしそん 門專·兒幼·兒乳 番九五八四語電

凝る前の服用、朝の滿足

若狹屋質店 嚴確勉持守实强 畵作 高 流 剤

躍活の屋質

野が が玖須子爵に手をさられて無理やかが玖須子爵に手をさられて無理やが が玖須子爵に手をさられて無理やが が玖須子爵に手をさられて無理や がはあさに居場る人でもた。

もお父さまで御一様に

木膽

弴 雄

(31)

世界に誇り得る

京都 師 西山研究 一西山研究 千藥代院

構監設定

造督計築

原

建築事

努

電話六二八七番

與東庭中一級主在投術者

梶原勇雄

WAGNER Fountain PenInK 新聞の配達上の御用命は一十一(夜間及休日)

い品

會職矢野一

元

七六七番

元商店





オスタープ 最 ルド 新 " 番入荷 感管捻子切器 荷 元 大商 町店

気の利いた 裝飾。 壁ブカーテ N. S. 7 設 計他山物

.-307

ピタリとキキメを見せる ■ び結博士の文献を無代送を変します。
・ 病と或者及び散疾の話気を一番)及
・ 無暴博士小田俊三先生の著「呼吸器」

キなら

龍印ボイラ

テキサコルー

10 かぜのセキ、百日ゼキ、ゼンソラ、腹部、及び神棉擦、除災、 三十億(二日分) 五十億(四日分) 8E18.

に肺炎や無管枝カタル勢の重点を激起す場合が非常に多い。 カタル、無常使カタル、耕物は、研炎、脱炭炎等の取得なセキャタンに る、ピタリと効力を現はして、なキを焼め、タンを依り、暖転を治し、 「多天セキ製」は、かぜのセキは分配ゼンソクにも、官に取にも、歌唱 今年の治域は、熱か下つても、いつまでもセキが止すらず、その質め 流感のセキは一番危険である

204

間見断である。神仙のセキは重くならぬ内に水漿で手軽と治すが頼一· 明度をラクにし、既を聞き、無分を実にならしむる、病者の伝統既を記

參天堂株式會

大連市播層町二三人種門町電停地へ入事二手配給元 佐々木洋行 鹼石

肝。

祭養の

素

またまでは、毛織物、絹物の洗濯に FLAKE For All Fine Laundering

MANCHURIASOAPHFGC !!! 而石鹼株式食肚

